

私の！

# 地域福祉計画

---

2020年（令和2年）9月30日

守山市役所健康福祉政策課

今日は、第3期守山市地域福祉計画をつくったことから見えてきたことをお話します。

ポイントは

よく聞き、よく話そう、そして巻き込もう

こんないいこと

計画づくりを通じて地域の方々とつながることで、自分の貴重な財産に

え！？ ほんまかいな！？

第3期守山市地域福祉計画は平成28年3月にできました。

策定のスタート自体は、平成27年度から開始・・・

でも、どうしよう・・・と、というか地域福祉って何！？

聞いてみっか！

各学区からのご意見をまとめると・・・

- ① 地域での福祉の担い手が不足している。
- ② 若者（ニート、ひきこもり）への施策を充実させてほしい。
- ③ 全世代を対象に、誰もが気軽に立ち寄れる居場所が少ない  
＝地域としての絆を深める場の充実。
- ④ 自治会と福祉関係者（民生委員・児童委員、福祉協力員など）との連携をもっと強くする必要がある。
- ⑤ 住み慣れた地域で暮らすための基盤整備＝住まい、交通の充実。
- ⑥ 地域資源（NPOなど）の発展の基盤整備が必要。

こ、これは！？

## 市内もやっちゃいました

### 施策（２）地域福祉の意識啓発

成果	課題と導き出される解決に向けた方向性
<p>• ユニバーサルデザイン（UD）出前講座や人権学習会を通じて、市民の福祉意識の向上に取り組みました。</p> <p>※ユニバーサルデザインとは…高齢者や身体障害者という特定の人に限定せず、また、あらゆる体格、年齢、障害の度合いに関係なく、できるだけ多くの人々が利用可能であるように最初から製品、環境等がデザインされていることで、誰もが社会の一員として、共に生きることを目指す考え方です。</p>	<p>【課題】</p> <p>福祉をより多くの市民に理解してもらうために、啓発活動の内容を工夫することが必要である。</p>
<p>【研修、出前講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自治会人権同和問題学習会 H23 70自治会 141回実施 5,718人参加 → H26 70自治会 147回実施 5,478人参加</li> <li>• 小、中学校へのUD出前講座 H23 6回 → H26 8回</li> <li>• 社協だより H23 6回（8頁）→ H26 4回（12頁）</li> <li>• すこまち連続講座H23 7回 600人参加 → H26 6回 1,295人参加</li> </ul>	<p>【解決に向けた方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③市の広報や出前講座により、福祉の意識を高め、理解を深めます。</li> <li>④人権意識の向上を図る取組をさらに進めます。</li> </ul>

進捗管理をするためではなく、各担当に知ってもらうこと。そして、一緒に取り組んでいく仲間になってもらうことが大切

いよいよ、有識者たちを集めた「地域福祉推進会議」

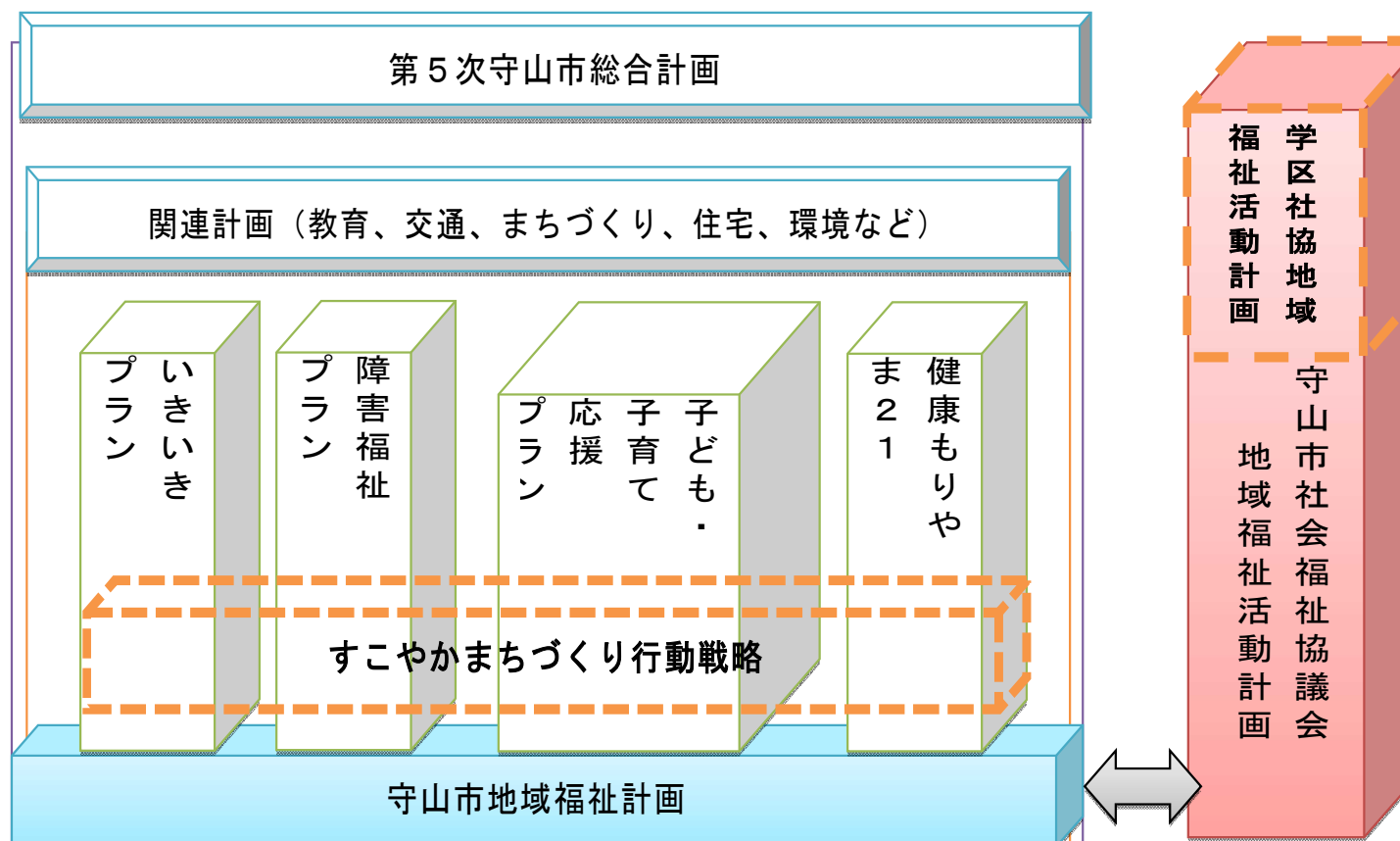


具体的に地域の実状を話すことで、議論が深まります。

委員同士が実状をきっかけに、自らの体験を語りだし、それが制度の縦割りを崩し、全体として守山をこうやっていこう！という話し合いにつながっていきます。

## そしてできた、守山の地域福祉の位置づけと目指す方向性

市民一人ひとりに「活動の場（居場所）」と「出番」があり、人を支え、人の役に立つことに喜びや、いきがいを実感でき、隣近所、自治会など様々な主体が参画することで、支え合いと活気のある地域社会の実現を目指す



パブコメでもっと広く意見を！

① 自分たちの地域の良いところ（地域の強み）

《より多く出た意見》

- ・自治会を中心とした地域コミュニティが強い。
- ・夜が安心して歩ける安全なまち。
- ・広域的な交通の利便性が良い（鉄道、自動車道）＝幹線交通については利便性が良い。

《その他の意見》

「地産地消ができる。」、「ゴミの分別ができています。」、「市内が平地で移動しやすい。」、「みんな顔を知っている。」、「病院が多い。」、「災害が少ない。」、「買い物が便利。」、「水田が広がっている。」、「学びに力を入れている。」「子育て支援が整っている。」

② 地域で暮らすうえで、将来の心配なところ（生活課題）

《より多く出た意見》

- ・近所づきあいが減ってきている。
- ・移動困難者の存在（高齢者）。
- ・若い世代と高齢者世代とがどう交流をしていくのかが課題。
- ・何事にも無関心な人が増えてきた。

《その他の意見》

「雇用の場が少ない。」、「老人施設が少ない。」、「介護が不安。」、「育児と仕事の両立が難しい。」、「車の運転ができなくなると、生活が不便。」、「子供を産むのが不安。」、「空き家が増えてきている。」、「身近な商店が少ない。」、「若い世代と高齢者が別家庭になっている。」、「居場所がない。」



③ 住みやすいまちを作っていくために、自分でできること

《より多く出た意見》

- ・自分のまちを知ること＝自分のまちの強みを知ること。
- ・主体的に近所付き合いや、地域活動に参加をすること。
- ・守山の良いところを、SNSを用いて情報発信をしていく＝小さな宣伝活動。
- ・健康づくり。

《その他の意見》

「相手の立場に立って話をしたり、心を通わす。」、「地域のボランティア活動に参加」、「野菜作り、米作りなど自然環境を保持」、「ゴミの分別」、「健康増進」、「地産地消」、「介護予防」、「防災訓練への参加」、「公共交通を利用する。」、「声かけ運動」、「子供への伝統などの伝達」、「買い物が遠いなら、車に乗せていく。」、「単身者の話し相手になる。」

「地域に暮らしを取り戻す！」

気持ちにいかに**火**をつけるか

# もちろん庁内も！

## 基本方針Ⅰ つながるまちづくり

隣近所、自治会、民生委員・児童委員、福祉協力員、赤十字奉仕団などの福祉団体、NPO、ボランティア、民間事業者など様々な主体がつながることで、市民一人ひとりが支えられるまちづくりを推進します。

成果指標	平成26年度(当初)	令和元年度(実績)	目標値(令和2年度)
困った時に頼れる人が近所にいると答えた市民の割合	57.8%	53.2%	70.0%
災害時の対応について家族や隣近所で話し合っている市民の割合	35.8%	32.9%	45.0%

### 1 一人ひとりにみんなで寄り添うまちづくり

日常生活の中で、課題を抱えている人や支援を必要としている人へ気づき、見守りや気軽に手助けなどができるのは、隣近所など、身近に住む人です。日頃からのあいさつなどを通じて、顔見知りになるとともに、近所づきあいを通して住民同士が支え合える関係を築くことが大切です。また、隣近所だけでは解決できない課題は、住民同士のネットワークや、自治会などの住民組織や民生委員児童委員、福祉協力員などの福祉関係者との連携により、解決できる場合もあります。そのため、地域に暮らす一人ひとりが地域活動に積極的に参加し、隣近所から自治会、学区、市域へと住民同士が支え合える関係を広げ、多くの人とつながることにより、支援が必要な人の生活課題の早期発見と早期解決が図れる関係づくりを促進します。

所管課	施策の内容に沿った事業の名称	事業の目的	事業の内容	活動方針・指標			
				平成30年度の状況	計画実施にあたっての状況(令和元年度)	目標(令和2年度)	現状の課題と目標達成に向けた取組
市民協働課	「わ」で輝く自治会応援報償事業(「話」)	地域の特性を活かしたまちづくりが展開されるように、地域の自発的で自主的な活動をしっかりと支えるため、これらの取り組みを応援(報償)することによって、地域に寄り添った支援を行い、「自分たちのまちは、自分たちで守る、自分たちが創る」という自主自立の精神の更なる深化につなげていく。	地域の特性を活かしたまちづくり等を推進するため、市の総合計画に掲げる4つの「わ」を柱とする自治会応援報償事業により自治会活動を支援する  事業メニューは以下のとおり 「輪」・・・交通安全 「和」・・・防災、防犯 「話」・・・交流(生きがいづくり、多世代交流)、交流(地域のつながりづくり)、健康 「環」・・・ごみの減量化、再資源化、環境保全 その他・・・先駆け	H30年度決算(「話」)  交流(生きがいづくり・多世代交流) 【誰もが気軽に集う居場所づくり】 ・自治会館開放・寺子屋・介護予防につながる取組等 61自治会 2,390千円  交流(地域のつながりづくり) 【コミュニケーションの機会の創設】 ・バス借上げ 26自治会 1,405千円  健康(健康づくり・生きがいづくり) 【元気で長生きするための健康づくり】 ・検診受診率向上の取組、健康づくりに資する事業等 59自治会 2,540千円	令和元年度決算(「話」)  交流(生きがいづくり・多世代交流) 【誰もが気軽に集う居場所づくり】 ・自治会館開放・寺子屋・介護予防につながる取組等 64自治会 2,630千円  交流(地域のつながりづくり) 【コミュニケーションの機会の創設】 ・バス借上げ 27自治会 1,305千円  健康(健康づくり・生きがいづくり) 【元気で長生きするための健康づくり】 ・検診受診率向上の取組、健康づくりに資する事業等 65自治会 2,760千円	71自治会全てにおいて取組を促進する。	令和元年度に、自治会のニーズ等を踏まえ事業メニューの見直しを実施した。より多くの事業を実施していただけるよう、自治会長からの相談に丁寧に対応するなど、自治会に寄り添った支援を行う。これにより、地域における共助の取組を更に促進する。

## 目指す守山の姿

### 一人ひとりの出番があるまちづくり

- I つながるまちづくり
- II いきがいを感じるまちづくり
- III 地域で暮らすまちづくり



一番のご褒美

俺らの計画や

遠まがり  
すまじと  
おおせい  
楽しめ  
うま  
いかな  
あまほ  
役割が  
うま  
いかな  
いかな  
いかな

長久手市吉田市長の言葉

ご清聴 ありがとうございます！